

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

第29号
発行所

明石市大久保町松陰 768-24
東田 雅俊 内
津名高校同窓会阪神支部
TEL & FAX
(078) 935-6018
印刷所：共栄印刷株式会社
TEL (078) 341-0316

大阪・関西万博に向けての

兵庫の取り組み

城古 博史
(高四十九回生)



兵庫県万博推進課に勤務しています城古です。県庁に勤務して約20年、万博推進課に異動してからR6年4月で1年半、万博終了まで残り1年半の折り返しとなりました。最近の趣味は、昼休み10分の筋トレです。

皆さんは、「ひょうごフィールドパビリオン」をご存じですか。兵庫県が、大阪・関西万博（2025年4月13日～10月13日）に向けて、取り組んでいるのが、「ひょうごフィールドパビリオン」です。

大阪・関西万博は、約2800万人の来場が見込まれている一大イベントであり、兵庫の魅力を世界に発信していく絶好の機会です。大阪・関西万博の波及効果を本県に取り込み、兵庫への誘客、活性化に繋げることを目的としています。

豊かにする取り組みには、世界が持続可能な発展を遂げていくための多くのヒントが秘められています。新たにパビリオンをたてるのではなく、県全体をひとつの大きなパビリオンにみたと、地域の「活動の現場そのもの（フィールド）」を地域の人々が主体となつて発信し、多くの人を誘い、見て、体験し、学んでいただく「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開しています。

淡路島でも211のプログラムのうち、沼島おのころクルーズが地域の核となるプレミアムプログラム（県内で9プログラム）に選定されています。国生み神話の溢れる淡路・沼島では、神話に基づいた奇岩などを漁師の船で巡るツアーを、地元漁師と移住者が協力して展開しており、海上から沼島の神話を聞き、漁師ならではの漁船で岩場のすれすれまで行ける迫力あるクルージング体験ができます。

「日本の縮図」と言われる兵庫では、地域の人々が主体的に課題解決に取り組む、未来を切り拓いてきました。「震災からの創造的復興」「人と環境にやさしい循環型農業」など、地域を

高く評価された結果であり、全国から注目・期待が集まっています。

旅前にコンテンツをイメージできまので、ぜひ購入してみてください。

大阪の万博会場にも、関西広域連合が関西パビリオンとして出展し、その中に、兵庫県も「兵庫県ゾーン」として出展をし、兵庫の魅力をPRする予定にしています。

盛夏の候、阪神支部の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。



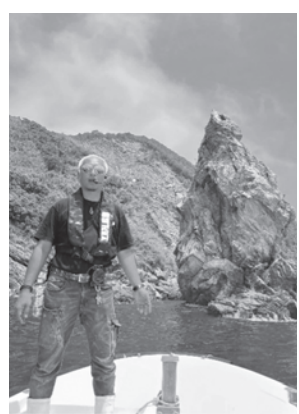
前淡路市教育長
山本 哲也
(高二十九回生)

淡路市小学校の再編状況

この再編計画においては、市立小中学校の教育環境整備と充実した学校教育の実現を通して、たくましく生きる力を身につけた児童・生徒の育成を図るため、現在の小・中学校を適正規模、適正配置に再編成し、淡路市の新たな学校教育環境を創ることが主な目的です。

具体的には、教育環境の整備として、クラス替えが可能で、同一学年だけの集団活動や行事が可能となるように児童・生徒数を確保すること、及び教育予算を効果的に投入し施設設備の充実を図ることを目指しており、これまでの再編によって平成19年度の24校から、現在は11校となつていきます。その11校は、石屋小、北淡小学校（浅野小・生田小・仁井小・野島小・富島小・室津小・育波小の7校の統合）、多賀小（多賀小、柳沢

さて、このような淡路市ですが、全国的な流れでもある少子化が進む中、これからの学校教育のあるべき姿を目指した淡路市小中学校再編推進計画を策定し、保護者・地域のご理解を得ながら学校再編に取り組ん



フィールドパビリオンお香セット



<https://eshop.awajikohshi.com/>

ひょうごフィールドパビリオンお香セット
オンライン購入サイト



<https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp/>

WEBサイト



<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk53/actionplan.html>

兵庫のアクションプラン

ぜひ、この機会に「ひょうごフィールドパビリオン」を訪れて、見て、学んで、本物の体験をし、兵庫、淡路島のファンになつていただきたいと思います。

株式会社ツダ
TUDA
建築工事・リフォーム工事
土木工事・水道衛生設備
空調設備・工具販売
住所：淡路市志筑3077 TEL：0799-62-1661

三ツ精機株式会社

小さく見つけて やさしく治す
神戸低侵襲がん医療センター
理事長・病院長 藤井 正彦 (高27回生)
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町8-5-1
TEL：078-304-4100 FAX：078-304-0041
<https://www.k-mcc.net/>



新築の一宮小学校

この再編推進計画においては、小学校を6校に再編する計画となつて

野小学校は、佐野地区住民が立ち上げた

津名高校同窓会 阪神支部の皆様、今年1月15日に

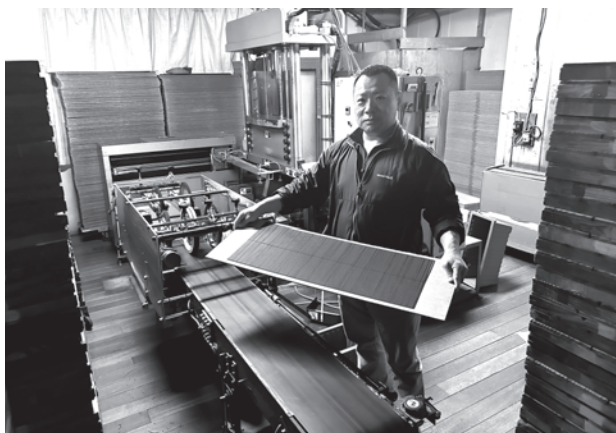


家族に乾杯で線香づくりを紹介

平川 善統 (高四十八回生)

いずれにしましても、皆様方にとりましては、思い

番組内では乾燥前の粘土状のお線香に触れたり、乾燥後に箱に詰める



線香工場にて

民あるあるではないでしょうか。かつては日本の

品のOEM供給なども多く手掛けるようになり、その

だ工事中の施設も多く見かけます。地場産業、伝統

水深三米 鹿の瀬

内海一的好漁場 田中 種義 (高十三回生)

有数の漁場浅瀬が広がっている。東西二十キロ

Advertisement for Takata Hotel featuring a bottle of sake and contact information.

Advertisement for Takahana (宝と花琳) featuring contact information and a representative name.

Advertisement for Fujii S-Factory featuring a website and contact information.



浅野漁港 西尾秀樹の漁船 伸正丸

伸正丸の船上で
左が私 田中

鹿の恋物語からと
か 鹿が餌場を求
め播州から淡路に
渡る姿が目撃され
たとか 諸説の言
い伝えがあり何れ
にしても真意のほ
どは判らない。大
型の船舶は稀に座
礁することがあり
こうなると満潮
まで離礁を待つし
かない。明治の太
政官布告で瀬戸内
海は明石海峡から
山口の関門海峡ま
でと制定された。

大小の島々が点
在する瀬戸内海交
通の要衝として古
来から発展してき
た。潮流の早い明
石海峡 海底の砂
がヶ所に集積され
れ 魚の生育条件
に適した好漁場に
なった。水深が浅
く太陽光が海底ま
で届き、プランク
トンが大量に発生
する。それを餌と
するいかなごのよ
うな小魚が集まり
さらに小魚を餌
とする大型の魚類
タイ タコ スズ
キ と高級魚へ食
物連鎖的に魚が集
まる。弥生時代の
蛸壺が海底から出
土している。昔か
ら人々は鹿の瀬と
呼び恵みの魚を獲
る最高の漁場とし
て賑わってきた。

取り合い争いがお
こることもしばし
ば。明石ダイ 明
石ダコと市場で呼
ばれるが産地は淡
路島 それも西浦
が多い。漁村の
港々から高速鮮魚
運搬車が大阪 神
戸の消費地に運ぶ。
墓参のおり浅野
中学の旧友 西尾

秀樹と会った。彼
は八十歳を超えた
今も現役 旨い魚
を消費者に届けよ
うと網を入れる。
近年の漁獲少な
かぬ異変がと。い
かなごの網入れ僅
か一二日。旨い魚
の獲れる鹿の瀬
海の自然を守りた
い。

歌人 川田順と江井

岡内 ともむ
(高十八回生)



播磨灘はてなき西のうなさかに触れむと
しつ陽の大なる

川田 順

この歌は近代短
歌の著名な歌人川
田順が昭和二十一
年の夏に淡路島江
井の岬から沈み行
く夕陽を詠んだも
のです。淡路島を
訪れていた川田を
江井のひとが案内
したものです。(う
なさか 海境)
私がこの短歌(そ
の)の歌碑との出会



平見神社に建つ川田順の歌碑

私は短歌・俳句
が好きで、歌碑・
句碑にも興味があ
ります。淡路島の
歌碑・句碑も随分
調べました。まさ
か淡路島にそれら
我が生地隣の江
井に川田順の立派
な歌碑があるとは
思いもよりません
でした。歌碑は石
作りの堂々とした
造りで、しかも、
岬のあちこちに木
造りの歌碑も三基
ありました。

館の担当の方の協
力を頂き「山海抄」
に行き着きました。
二百八十ページの
「淡路江井崎」に次
の五首が載ってい
ました。
淡路島江井の岬の
のぼり路は萩の花
多し夏草のなかに
夏草ふみ岬の上に
いでしかば朽ちか
たぶける魚見の小
屋あり

「歌碑建立の背景・
②文化に対する町
の取り組み」
次に、行政の文
化活動への姿勢は
どうだったのか？
歌碑をそれも四基
同時に建立する背
景は？行政からの
バックアップなし
には考えにくいと
思いました。建立
当時のことに詳し
い人から当時の広
報を見せさせて頂き
ました。
広報で一宮町の
町長は「文化活動
の推進」を訴えて
おります。この広
報発行と歌碑建
立はいずれも平成
十五年三月。歌碑
建立を後押しする
空気が当時の一宮
町(江井)には充
分あったと思われ
ます。

陽は特別のもので
す。ふるさとの思
い出はこの夕陽と
共にあります。こ
の短歌を前にすれ
ば「歌碑に遺そう」
となるものと思
います。
【歌碑建立へ】
①②③が相俟つ
て「川田の歌碑を
江井崎へ」という
事になったのだと
思います。それも
四基一斉にとはす
ばらしいではありませんか。
故郷の先輩が遺
してくれたこの歌
碑。大事に大事に
引き継ごうではあ
りませんか。
以上
【全国文学碑総覧
へ】
歌碑・句碑・詩
歌等二万基以上を
収録する本格的な
文学碑総覧です。
何故かこの総覧
にこのうたが載っ
ておりません。お
かしい。残念でな
りません。

この町の宝

西 眞理子
(高十九回生)

淡路市の志筑に
新しい図書館が完
成したと門市長が
フェイスブックに
投稿されたのは二
年ほど前。元芸
部員にとつてうれ
しいニュースだが
スマホの普及、本

淡路島の不動産は、
当社におまかせ！
株式会社ツーワン・不動産アイル
〒656-2131 淡路市志筑 3111-15
TEL.0799-60-0077
mail airu@t21.jp
HP https://airu21.com/

ちょっと、ONOKORO
“おもろい”らしいでえ。
知らんけど。
ONOKORO
淡路ワールドパーク
〒656-2142 兵庫県淡路市塩田新島 8 番 5
TEL. 0799-62-1192 www.onokoro.jp

立花 和也
(高五回生)
〒654 神戸市須磨区須磨寺三十一番十二
TEL・FAX 〇七八七三二一三二二四

尾崎 田鶴子
(高六回生)
〒566 001 摂津市千里丘四一十三一七
TEL 〇六六三八九一四〇七〇

矢野 端
(高七回生)

なった後の自然』本格的なノンフィクション物だ。読書離れしていた私も引き込まれる面白さで読み進めてみると、参考文献を多数使用した内容の深さに驚く。インターネットで検索したり、アマゾンで購入したのだから。今時、翻訳はAIがやるのではとの疑問がわく。朝日新聞のデジタル記事で見

ると、日本語訳は難しくまだまだ語彙を増やしていかなければならないらしい。すると、この翻訳本もAIの役に立つのかもしれない。妹が「津名図書館の司書さんにはお世話になりました」という。そういうことだったの。国立国会図書館にも入っている門がすぐそばにある幸運に感謝だね。



新しい淡路市図書館



「人間がいなくなった後の自然」著者：カル・フリン 翻訳：木高恵子

阪神支部の活動に是非ご参加を



阪神支部長 東田 雅俊 (高十六回生)

阪神支部の皆様 こんにちは、夏もこれからが本番、日ごとに暑さが増してまいりますが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。日頃は阪神支部の活動に何かとご協力・ご

支援を賜っており、ありがとうございます。令和6年は元旦の午後4時10分ごろ石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が起きる波乱の幕開けとなりました。

大地動乱の時代、西日本は地震の活動期に入ったと言われておりますが、輪島市では防潮堤や海沿いの岩礁がおよそ4メートル隆起したことが専門家の調査でありました。いよいよ迫り来る南海トラフ巨大地震に我々も備えておく必要があると改めて思った次第です。さて、今年には二年に一度の阪神支部総会の年です。8月24日(土)に阪神支部総会を志筑の淡路ワールドパークONOKOROで開催します。神戸三宮で集合し淡路島にわたり「洲本市・淡路文化資料館」を見学。今回は館内をガイドしてもらおう予定です。その後、午後1時半より阪神支部総会を開催します。その後同じ場所で開催される本部同窓会総会に参加。本部同窓会総会の懇親会終了後午後6時より、母校中庭にて開催されるたそがれコンサートを少しだけですが鑑賞した後に帰ってくる予定です。皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。

又、今号では「大阪・関西万博に向けての兵庫県の取り組み」と題して49回生の城古博史さんにご寄稿いただきました。大阪・関西万博もいよいよ来年春、約半世紀ぶりに大阪で開かれます。昭和45年の初夏に就職試験を受けるため帰省した折前回の大阪万博を見に行ったことを懐かしく思い出しました。大きなインパクト・感動を与えた前回の万博。今回は関西にどのような影響を与えるのでしょうか。楽しみます。今、時代は大きく変容しつつあります。世界情勢も混とんとしてさまざまな。国連も一部機能不全に陥り、オリンピックも曲り角。日本も本格的な人口減少時代に入り、当たり前前と違っていたことが当たり前でなくなっている時代。何となく閉塞感が社会全体に漂っています。しかし、このよ

豊かな気持ちになれると思えます。何と云ってもわたしたちの人生の原点はふるさと淡路島ですから。同窓会活動の良さを思い出してみませんか。皆様の生活の一部に、同窓会活動の彩をほんの少し加えていただくことで、少し



学校長ご挨拶 津名高等学校 校長 仲山 恵博

阪神支部の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃より母校の教育活動に對しまして、格別のご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。私の津名高校での勤務は4年目となり、勤務できることをうれしく思うとともに、津名高校の校風や積み上げてきた歴史に重責を感じ、毎日です。津名高校の歴史に貢献できるような本年度も頑張りますのでよろしくお願いたします。コロナ禍から学校が日常を取り戻しつつある中、学校生活の中で最も心打たれるのは校歌の合唱です。コロナ禍では歌うことが許されず、音源を聞くだけでしたが、文化祭にお

昨年度、生徒の活躍の状況は、ギターマン・ドリンドル部が全国大会に連続出場、陸上競技部が近畿高校駅伝大会に出場しました。また野球部が夏の県大会でベスト8に進出し、兵庫県高校野球連盟より敢闘賞を受賞しました。野球部の健闘には、阪神支部の多くの方に応援いただき誠にありがとうございました。各部の活動では、大会やコンクールへの出場に加えて、新型コロナウイルス感染症の5類移行とともに復活した地域行事への協力依頼が多く、生徒会とともに大いに活躍しました。令和6年3月の卒業生、75回生の140名の進路実績は、国立大学進学者数は16名、私立大学へ

は85名、短期大学・専門学校等へは31名、公務員・就職者等は8名でした。母校の後輩たちは、校訓「自主、誠実、勤勉」のもと、たくましく活躍しております。結びに、同窓会報でも案内させて頂いたいただきましたが、ふるさとひょうご寄附金の応援メニューの1つである、県立学校環境充実応援プロジェクトへの協力よろしくお願いたします。詳細は、兵庫県または本校のホームページをご参照願います。同窓会阪神支部の皆様には、今後とも母校への教育振興と後輩への激励のため、ご支援とご協力を賜りますことを重ねてお願いいたします。挨拶といたします。



同窓会館 風景

田中 種義 (高十三回生)

南 正光 (高十四回生)

松野 聰子 (高十五回生)

中野 淑郎 (高十五回生)

東田 雅俊 (高十六回生)

正徳 孝夫 (高十六回生) TEL(06) 63891315

上田 敏晴 (高十六回生)

高十七回生 サッカー部一同 川添 茂弘・潮崎 章二 正面 昇

森 章次 (高十八回生)



私の一

私の一日は、ラジオ体操から始...

六十路を迎えた頃から雨風に拘わらずNHK第一放送のラジオ体操に...

木場 弘 (高十七回生)

片道三キロ余りの外周歩道を六段変速の自転車...

その後、所要のある日を除き、午前中に、ピアノの練習に取り掛かり...

た。昨年七月二日(日)開催の大人のピアノ発表会...

「スケルトン」の二曲を弾き、六回目に初めてノーミスで演奏を終え、思わず会場の孫娘...

月末の午後からは、平成七年七月から二十八年八月の間取り組んでいる俳句に勤しんでいます...

人の四九二句から選句)に掲載されました。

令和五年度では他に、「弥生期の鯨描きし土器に東風」と「病氣予知電子スーツや紅葉鮎」...

当初は神戸新聞(尾崎まゆみ選)に二首のみ投稿していましたが、令和五年六月からは...



淡路島西海岸の魅力

清水 啓司 (高二十二回生)

後世の詠み人が、拙句及び拙首を少なからず感動を覚えたと感じられるよう精進したいと...

ます。なお、現在中学三年生の孫娘が保育園児の折に日記を書かせていました...

NHKの人気番組「鶴瓶の家族に乾杯」で『淡路市の旅!』(1月15日前編、同月23日後編放映)を観ました...

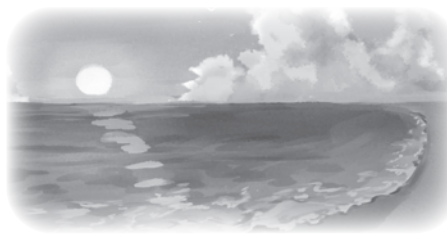
私の子供時代は、播磨灘側を西浦、大阪湾側を東浦と呼んでいました...

かもしれないが、今年も、現在中学三年生の孫娘が保育園児の折に日記を書かせていました...

今年と同窓会に彼を招待し、直接エールを送りたいと思っています。

淡路島西海岸の魅力は、観光再開発は成果がでていますが、地方の観光地開発は、国の補助金などを得て行政主導で行われるケースが多い...

今年、津名高校は多くの有名スポーツ選手を輩出しており、その代表格は陸上競技の坂東悠汰選手です...



高十八回生有志一同

- 杉岡実季子 (旧姓 宇城) 仲野和美 鶴田真弓 (旧姓 中之内) 奥田照子 (旧姓 酒井)

税理士 花野 正悦

〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通七丁目一十四 TEL (0778) 5781-5335 FAX (0778) 5771-2318 (高十九回生)

津名高校同窓会東京支部部長 東京淡路会副会長 清水 啓司

〒333-0803 埼玉県川口市藤兵衛新田八十八 TEL (080) 65281-8348 (高二十二回生)

翻訳家 木高 恵子 (高二十三回生)

五条 正仁 (高二十五回生)

京呉服 夷川 しめだ

〒604-0093 京都市中央区夷川通新町角 TEL (0775) 221-1813 岡川 都志子 (高二十五回生)

志田 守 (高二十六回生)

FJK法律事務所 弁護士 藤木 啓彰 (高二十七回生)

事務所 〒544 大阪市中央区北浜三丁目一〇一 淀屋橋平井ビル六階 TEL 06 (6220) 4170 FAX 06 (6220) 4170 E-mail info@fjk-law.com https://www.fjk-law.com

あかね税務会計事務所 代表税理士 片山 敏彦 (高三十回生)

〒530 大阪市北区天神橋二丁目三番八号 TEL 06 (680) 2570 FAX 06 (680) 2571 E-mail k-akane@kve.biglobe.ne.jp

同窓会の仲間と 春日大社散策

中野 淑郎
(高十五回生)

コロナ禍も一段落し、今年も4月6日恒例となりました「奈良巡り」がやって来りました。集合場所も例年通り、近鉄奈良駅前広場行基像の前に、13時30分に総勢14名が集まりました。今回、遠く淡路島岩屋の地より、ご本人のご希望にて女性1名が参加され、この行事の意義の深さも感じられました。

参加者は2班に分かれ、15回卒の松野さんと、ボランティアの松山さんに引率説明を受け本年は、春日大社巡りと、志賀直哉旧居散策をメインとして、定刻通

り出発。先ずは、一昨年訪れた興福寺を通り抜け、春日大社一之鳥居に向かう。途中、国宝興福寺五重塔が本年より改修工事に掛かる為、小生の如く老齢者には、見納めかも？と改めて感慨深く見上げました。

この日の奈良は「青丹よし奈良の都は咲く花の匂うが如く今盛りなり」の通り、インバウンド、円安の影響で外国人が大半で、各国の言葉が飛び交い、古都に居ながら、外国情緒豊かでした。春日大社本殿に向う道すがら、参道にある寄進燈籠の説明や

建築物の説明を聞きながら、国宝本殿に到着。テレビ報道等で見た事のある、三千基の燈籠に灯が入った幽玄さと、昼間とは見え回廊に連なる燈籠と朱塗りの本殿の荘厳さに、圧倒されつつ、ご参拝を終えました。

1300年間、一日も絶える事なく、国家、国民の為に脈々と、受け継がれた神事、祈りは尊く、永遠に続く事を願いました。背後にある三蓋山(三笠山)も、ご神体として今日までも崇拜されて、詩歌にも多く詠まれています。春日大社に別れを告げ、次なる目的地「志賀直哉旧居」散策に向かう。旧居は三笠山を借景に、約400坪の敷地

春日大社の鳥居前で



に、直哉自らが設計した住み心地が良く、合理性に富んだ洋風と、わびさびに重きを置いた、和風数寄屋造りの、和洋折衷に、実生活の便利さを追求した、理想的な家屋、庭園を短時間ながら見学をした。奈良の奥山の地に多くの知人、友人を招待し、交流を深めた直哉の人間性を垣間見たひと時でした。彼が描いた簡潔な作品(暗夜行路、城崎にて等)に心を馳せながら、旧居を後に帰路に着きました。来年度の春には「西大寺から秋篠寺を歩く」を考えております。一人でも多くのご参加を願いつつ、是非、ご意見、ご提案をお待ちしております。

は8月末に行われたそがれコンサート。コロナの制限もなく客席には沢山の人が来てくれました。大勢の観客を前に緊張でいっぱいでしたが、引退された先輩方や卒業された先輩方、家族に見守られながらやり遂げた演奏会は私たちがとって確かなモチベーションに繋がっていききました。自分たちで作る音楽、演奏に対する楽しさにも気づく

ことが出来ました。たそがれコンサートを終え私たちが待っていたのは、私達津名高校ギター・マンドリン部の歴史を左右する県大会でした。部員それぞれの意識も変わっていき、外部講師の先生方から直接レッスンも受け、部員一人一人の技術を高めていきました。先輩方が積み上げてきた功績は私たちがとって誇り高い目標でもあり、大きなプレッシャー

でもありません。そんな緊張感や意気込みの中、挑んだ県大会では無事に全国大会出場の切符を掴み、45年連続出場を決めることが出来ました。そして2年ぶりに連盟奨励賞をいただきました。

地域活動では特別支援学校での依頼演奏など積極的に活動を行っていきます。依頼演奏で演奏する曲の多くがポップスを占めています。私たちが

の演奏への期待が、日々の練習の糧となつていきます。お互いがお互いの音を信頼してこそ最高の音ができると信じ、これからも自分たちの音楽を作りたいと思います。また、新たに入ってきてくれる新入生と一緒に全国大会までの時間を無駄にしないよう目標である優秀賞に向け部員一丸となつて一つの音楽に向き合いこれからも進んでいきたいと思ひます。

マンドリンクラブ

森脇 楓
(高校3年生)

私たち津名高校ギター・マンドリン部は、心に響く音楽をモットーに、1年生10名、2年生11名、3年生12名の計33名で日々部活に励んでいます。

昨年の夏に行われた全国大会を機に先輩方は引退し、新体制になり、初めて迎える舞台

クラス活動の状況 (令和5年度) 主な活動状況

体育部活動状況

- 野球部
 - 令和5年度 夏季兵庫県高等学校野球大会 兵庫県大会
 - 2回戦 津名2-0明石高専
 - 3回戦 津名4-3明石
 - 4回戦 津名8-0山崎 (8回コールド)
 - 5回戦 津名6-2東洋大姫路
 - 準々決勝 津名0-8明石商業 (7回コールド)
- 陸上競技部 (女子)
 - 第77回・第39回兵庫県高等学校駅伝競走大会
 - 令和5年11月5日
 - 篠山市 大正ロマン館～立金・松ヶ鼻～篠山鳳鳴高校 総合14位 1時間24分20秒
 - 【山口・鈴木・古匠・向田・山崎】 近畿大会出場
 - 第39回近畿高等学校駅伝競走大会
 - 令和5年11月26日
 - 南あわじ市 おのころ島神社～三原中学校 総合28位 1時間21分45秒
 - 【山口・山崎・原田・向田・鈴木】

- 男子バレーボール部
 - 第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレー) 兵庫県予選大会
 - 令和5年11月4日 (土)
 - 於：洲本市文化体育館
 - 2回戦 津名 0-2 武庫之荘総合

文化部活動状況

- ギター・マンドリン部
 - 令和5年度 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール (吹田市文化会館)
 - 優良賞 受賞
 - 第47回兵庫県高等学校ギター・マンドリンフェスティバル (明石市民会館アワーズホール)
 - 「メリアの平原にて」(マノンテ作曲)
 - 連盟奨励賞受賞、全国大会推薦
 - 書道部
 - 第47回兵庫県高等学校総合文化祭書道展 (兼) 第69回兵庫県高等学校書道展
 - 特選 2年 平田 そら

75回生の進路状況については本部同窓会報をご覧ください。

令和6年度高17回生・昭和41年(1966年)卒業 4・5・6組合同同窓会開催のご案内

昨年は一年振りに開催し、多くの皆様の参加を得て楽しい一時を過ごすことが出来ました。今年度も皆さんからたくさんの声をいただき、下記の通り開催を予定していますので案内いたします。詳細等については世話人代表 榎筒享夫より別途連絡いたします。

正面 昇 (高17回生)

—開催の案内—

- 開催日 令和6年11月10日(日) 12時～(受付11時半)
- 場所 舞子ビラ神戸 TEL 078-706-3711 神戸市垂水区東舞子町18-11
世話人代表 榎筒享夫 携帯090-3862-3127



ギターマンドリン部全員集合

16回生同窓会に参加して 脇本 美代子 (高16回生)

令和5年11月8日三宮で津名高校十六回生の懇親会(第26回おのころ会)が開催されました。今回も柳先生にご出席いただき男25名女12名総勢37名の出席でした。コロナ禍もあり、4年間中断していただいたのでおのころ会はないものと思っておりました。幹事の皆様ありがとうございました。

久しぶりに皆様とお会いできてとても楽しかったです。卒業以来の方(A君や旧姓Iさん)とも60年近くのブランクを忘れお話ししました。柳先生とは高校時代の夏休み家庭訪問に来られたこと広田先生のことなどの話題がはずみました。

旧姓Mさんはここ何年かはお会いできなかったのですがすぐにお声をかけて下さいました。長年の友はありがたいです。

旧姓Kさんとは故瀬野さんのお孫さんに数年前に偶然母校の大学でお会いした事をお話すると「瀬野さんが合わせてくれたのよ」と言って中学時代に泊りがけで試験勉強した事などしみじみ語り合い今日この輪の中に彼女も参加して喜んでいようような不思議な気持ちになりました。まだまだ友のお話はつきませんが高校時代にタイムスリップしたみたいでした。

帰りに旧姓Yさん、旧姓Sさんと3人で2時間近くお茶しました。彼女たちとお話しているといつも話題が豊富で得ることが沢山あります。本当に最高の1日でした。

なお、話し合いで今後の運営は次の通りとなりました。

- ①開催は少なくとも80歳までは続ける。
- ②来年は今年同様秋とする。ホームページに広告を出す。



25回生同窓会 池町 隆明 (高25回生)

令和5年11月8日に、25回卒業生の全体同窓会が神戸三宮のホテルを会場として、塚崎道幸先生と25回生96名の総勢97名が出席して開催されました。

新型コロナ前の令和元年に淡路ワールドパークONOKOROで行って以来であり、初めての島外開催でした。

現代は学年4クラスとのことですが、我々の時代には、7クラス310余名が在籍していましたが、年齢を重ねてゆくと出席者が減るのではないかと思われたのですが、電話などでの声掛けも実施して、遠くは北海道からの参加もあり、前回と同程度の人数が集いました。

物故者への黙祷、恩師挨拶に続き、世話人代表津田豊君の挨拶の中で、在校生の文武に渡る活躍が紹介され、引き続きの歓談においても関心をもって話されていました。

25回生の現状は、継続して働いている人、最近起業した人、隠居生活に入っている人と様々ですが、お互いに刺激があったのではないかと思います。

そして、二次会は、少し歩いたところの店を借り切って行い、数日前にプロ野球日本一が関西で決定したお祭りムードもあって、本会に引き続いて盛り上がった会となりました。

ところで、先だっの準備打合せは、津名高校隣接のエンジ会館にて行われたのですが、この前後に校内を歩いた際には、グラウンド、体育館での後輩らの練習風景を目にすることができ、また、自然と挨拶を交わすこともあり、世代を超えた繋がりを体感しました。皆様にも、母校に立ち寄られることをお勧めします。

注：同窓会の写真については、本部同窓会のホームページの写真をご覧ください。

1年に2回の同窓会 木村 稔 (高13回生)

皆さん、はじめまして！
私は、昭和19年満州で生まれまして、敗戦後家族全員がやっとの思いで淡路島に引き揚げてまいりました。

志筑小学校に入学した昭和25年は朝鮮戦争が勃発、志筑中学校に入学した頃は、映画「太陽の季節」が大ヒット。津名高校に入学した昭和34年の翌年にカラーテレビ放送開始の頃でした。当時、志筑中学校と並行した場所に木造建てか木の香りがしみついた学校でした。軟式テニス部所属していましたが、常に控え選手で、志筑の浜まで塩水を汲みに行く、テニスコートへ散水作業をする三年間でした。3年の頃は、坂本九の「上を向いて歩こう」が大ヒット。

それから社会人となり、会社の異動で、転勤生活が続きましたが大阪に戻ってから、平成7年、阪神淡路大震災発生により、生活が一変。当時、川西市の自宅から、母親の住む志筑へ。仮設住宅の生活から新しいアパートに入居する迄、車の往復、仕事の合間を縫って復興を目指して頑張りました。同窓生の皆さんも、それぞれ同じ様に頑張ってきた事と存じます。昭和、平成、令和の三代の天皇と共に乗り越えて来られた皆さんに敬服する次第です。

本当にすごいことと思いますが、我等、第13回生、津名高校卒業生の同窓会を一年の間に2回も開催した事実です。

1回目は令和5年4月25日、志筑の「津名ハイツ」で約53名の方達が、東京、名古屋、大阪、神戸、広島、大分県の遠方からの参加者を含めて盛大に催り行いました。お互いに、安否の確認や昔話に花が咲き、これからは、毎年、同窓会を開いた方が良いという意見が、多数ありました。

お世話して戴いた世話役、幹事の皆さんは、早速、今回の反省会を開き、今後の計画を話し合った結果、この勢いがある間に、同窓会の忘年会を開こうとなりました。出席出来る人だけで良い。兎に角連絡を早めに入れよう！とすぐに決定しました。

2回目は、12月12日・12:00から、志筑の「寿司一」で約25名(男女、半々)の参加者がありました。

「久しぶりやね」「コロナ大丈夫?」「元気で何よりです」などの挨拶が多く。

座敷広間ですが高齢者用に配慮された椅子とテーブルがセットされスペースもゆったり確保しながら、男子一列、女子一列が向かい合っ、会席料理とお酒類をたしなみました。それぞれ年齢を重ねた。容姿は変わりましたが、昔のおもかげを残しているので楽しい時間は「あっという間に」過ぎました。

「病氣治療」「家族の看護」「家族の御不幸」などで参加できなかった方達もありましょう！

それでも、せめて、皆さんと出会い、元気なパワーを皆さんから戴いて、お互い長生きしていきましよう約束した次第です。

追伸 今年1月1日発生した。能登半島大地震と津波で被害に遭われた方々(死者240人、避難者1.4万人)に、お悔やみ申し上げるとともに、早く平和な生活を取り戻して戴くように心から願っております。



津名高等学校同窓会 阪神支部総会および本部総会のご案内

令和6年の津名高校同窓会阪神支部および本部総会を母校所在地で開催します。
阪神支部では支部会員皆様の親睦を図るために、神戸より貸切バスをご用意いたします。
淡路の文化資料、収蔵品の展示を見学予定しておりますので、会員皆様多数お誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

記

- 日時 令和6年8月24日(土) 9時45分集合
- 集合場所 神戸三宮 ラウンド・ワン(ボーリング場)前
- 昼食と支部総会 おのころパークレストランで昼食と、阪神支部総会
- 本部総会場所 おのころ会議室で本部総会・懇親会
- 参加費 ¥2,000(昼食代他) ※これとは別に本部総会後の懇親会に参加する場合は参加費5,000円が必要です。
- その他 貸切バス代、資料館入場料は支部負担
- 参加申込 名前(フリガナ)・卒業年(または第回生)・満年齢・固定電話、携帯電話(必須)をご記入の上、FAXまたはメールで下記申込先までお申し込みください。
※満年齢は8月24日現在、旅行傷害保険に必要です。
- 申込締切日 8月5日

《申込先》 杉岡 実季子 FAX 078-704-0334 メール sgok-mkk@pf7.so-net.ne.jp
 《お問合せ》 杉岡 実季子 TEL 078-704-0334 携帯 090-3051-6470
 東田 阪神支部長 TEL 078-935-6018 携帯 090-7101-6861



行程	神戸三宮	＝	洲本市山手	＝	淡路文化資料館	＝	おのころレストラン(昼食)	＝	支部総会	＝
	10:00発		12:15発		12:45着		13:30～			
行程	本部総会・懇親会	＝	津名高校構内	＝	たそがれコンサート	＝	神戸三宮			
	15:00～		18:00～18:50		20:00着					



*上記を予定していますが、料金・コース等一部変更の可能性があります。又淡路文化資料館では今回はガイドをしていただく予定です。
 *この総会旅行は旅行損害保険に加入します。但し、疾病は除く。

津名高等学校同窓会 阪神支部 収支決算書

(令和4年6月1日から令和6年5月31日まで) (単位:円)

令和6年5月31日

収入の部		
科目	金額	備考
前期繰越金	5,250,004	普通預金(三井住友銀行) 1,369,561 ゆうちょ銀行 3,860,443 現金 20,000
会費	867,000	通常会費(令和4年度、令和5年度)
本部補助金	400,000	令和4年度、令和5年度分
総会参加費	34,000	令和4年の総会
賛助広告費	668,736	同窓会新聞広告費(第27号一部、第28号、第29号)
預金利息	18	三井住友銀行
寄付金	124,560	6名
合計	7,344,318	

支出の部		
科目	金額	備考
印刷費	1,476,876	同窓会新聞(会報) 第27号、28号(共栄印刷)
印刷関連費	132,518	タックラベル、コピー代、振込用紙(4,500部、4,300部)
総会費	171,180	令和4年8月27日、津名ハイツ
通信費	114,146	切手代、封書代等
会議費	58,950	支部役員会議、編集会議
消耗品費	6,138	用紙代、インク代
支払手数料	4,414	銀行振り込み手数料等
交通費	11,160	本部会議出席(4回)
その他	4,000	奈良巡りガイド料(元興寺、春日大社)
次期繰越金	5,364,936	普通預金(三井住友銀行) 1,647,477 ゆうちょ銀行 3,697,459 現金 20,000
合計	7,344,318	

令和5年7月20日にゆうちょ銀行より三井住友銀行に2,000,000円資金移動しました。
 令和6年8月24日の阪神支部総会で承認議決の予定

15回生(昭和39年卒業生)傘寿同窓会開催企画

来年、傘寿を迎えるに当たり有志より同窓会開催の話が出ました。いよいよ人生も終活に入る昨今、青春を共に過ごした同期生と懐かしい思い出を語り合い心に残る一日をと、同窓会開催の企画立案を致したく、実施日は来年の秋を予定として、詳細は来年発行の「阪神支部報30号」にてご案内したいと考えております。

就きましては、同窓生皆様方のご賛同とご意見、ご提案をお寄せ頂ければ幸いです。

連絡先: 事務局 佐藤 正文 090-3706-5180
 世話人 漁 充夫 090-4692-0131
 中野 淑郎 090-9059-0609

阪神支部会費納入のお願い(年額2000円、令和6年度分)

★郵便振替口座 □座番号 00980-7-184478
 □座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

★銀行振込 銀行支店名 三井住友銀行鈴蘭台支店
 ご利用の場合 □座番号 普通預金 5058703
 □座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

同封の払込取扱票、又は左記銀行振込にて

津名高等学校同窓会ホームページ

URL <https://tsunako-dosokai.com>
 阪神支部からの案内・報告等も載せております。
 ※今後阪神支部総会案内、臨時イベントの案内は、同窓会ホームページ又は阪神支部報で案内します。

魚井和彦 (★)は卒業回生 (33)

奥野豊 (27)

五条正仁 (25)

菅数子 (20)

森章次 (18)

杉岡実季子 (18)

正面昇 (17)

松野聡子 (15)

中野淑郎 (15)

南正光 (14)

田中種義 (13)

福谷勲 (32)

上田敏晴 (16)

副委員長 東田雅俊 (16)

編集委員長

編集後記

支部報29号の発行にあたっては多くの皆様方にご支援・ご協力いただきました。賛助広告にご協力いただいた企業やOBの皆様方、支部年会費にご協力いただいたOBの方々、原稿を執筆いただいた方々をはじめ数多くの関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。お陰様で今年も支部報を皆様方にお届けすることが出来ました。

今号では、阪神支部のあり方検討会での議論の成果を踏まえ、①淡路島や母校の記事を中心とした情報誌とする②各年次同期会の情報伝達ツィル・伝言板として活用する等の方針のもと編集しました。この支部報が同窓生の皆様の交流の一助になれば幸いです。